

特別支援教育の視点に立った 個別最適な学びを実現するための校内支援体制づくりに関する研究 —ニーズ調査を通した学校サポート資料の作成—

特別支援教育室 乗 松 三和子 山 田 亜 紀 越 智 宣 和
田 中 百 合 玉 乃 井 美 穂
研究協力者 愛媛大学教育学部教授 加 藤 哲 則

1 研究の目的

個別最適な学びの実現に向けた取組や校内支援体制などの組織づくりに関する管理職及び教職員のニーズを明らかにし、それに基づく学校サポート資料を作成し提供することで、誰一人取り残さない学校づくりを支援する。

2 研究の内容

(1) 1年次の取組（アンケート調査の実施）

- 校長、特別支援教育コーディネーター、学級（ホームルーム）担任に、個別最適な学びの実現に向けた取組や校内支援体制などの組織づくりに関するアンケート調査を行い、結果を分析してニーズや課題を明らかにした。
- 管理職のリーダーシップの下、学校全体がチームとして取り組む協働体制の構築
- 特別支援教育コーディネーターの役割分担の明確化や相談体制の整備、役割を確実に引き継ぐ体制づくり
- 個別の教育支援計画等を活用した専門機関等との連携
- 研修内容の充実による、全ての教員の専門性の向上
- 特別支援教育に対する教職員の意識の向上や共通理解の推進
- 特別支援教育コーディネーターの負担を軽減し、効率的に研修を進めるための支援
- 個別の教育支援計画等の一連の流れや作成・活用ポイントを、分かりやすく示すこと

(2) 2年次の取組（学校サポート資料の作成）

ア ニーズや課題の整理

重複する内容や類似する内容を整理するとともに、ニーズや課題を細分化し関連性を整理した。

イ 学校サポート資料の方向性及び構成

校長、特別支援教育コーディネーター、学級担任などの役割による視点や校内外における様々な連携の関係性による視点、学校現場での活用のしやすさ及び実用性の視点から、ニーズや課題に対応する構成とした。また、各章に個別最適な学びを実現するための視点を盛り込んだ。さらに、校内研修で活用しやすいものにすることで、研修の計画や実施に係る負担の軽減を図った。

ウ 学校サポート資料の内容

「子どもの成長過程」「1年間の流れ」「学校経営」「校内委員会」「連携」「個別の教育支援計画及び個別の指導計画」「集団づくりと個に応じた指導・支援」の7章とした。全ての教員にとって分かりやすく活用しやすい資料となるよう、多くの具体例を示した。特に、「集団づくりと個に応じた指導・支援」については、子どもの実態に合った方法を選択したり参考にしたりできるよう、より多くの具体例を示した。その際、子どもの発達段階を考慮し、全ての校種において活用できるようにした。また、アンケート調査で得た実践事例を活用した。

エ 資料の形態の検討

利便性と実用性の観点から形態を検討し、各章を独立して扱える構成とした。また、関連する章や関係資料へのアクセス性を高めるため、リンク先や二次元コードを付した。

3 研究のまとめ

ニーズ調査を基に、「サポすく！誰一人取り残さない学校づくりサポートブック」を作成した。今後は、ホームページに掲載するとともに、各種研修講座で活用し、特別支援教育の視点に立った個別最適な学びを実現するための校内支援体制づくりを支援することで、誰一人取り残さない学校づくりに寄与していきたい。